

# 日立の高信頼プラットフォームを適用し、 全職員が利用する5,000台の仮想デスクトップ環境を構築

## ▶▶▶ 株式会社北洋銀行

北海道を地盤とする株式会社北洋銀行（以下、北洋銀行）は、全職員が利用する約5,000台の大規模仮想デスクトップ環境を構築中であり、2012年9月から順次利用を開始する。勘定系・情報系・OA系を1台の端末から利用するための基盤に日立のシンクライアントノウハウを基に統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」の小型高集積モデル「BS320」と高信頼ストレージ「Hitachi Adaptable Modular Storage 2300（以下、AMS2300）」を採用し、Hyper-V™とCitrix XenDesktop™などを組み合わせたプライベートクラウドを構築。コスト削減とセキュリティ向上に加え、端末集約による顧客接点の強化とサービス向上が期待されている。

## Platform & Solution



システム部  
担当部長  
櫻井 誠氏



システム部  
システム企画課 課長  
平林 誠司氏



システム部  
システム企画課  
主任調査役  
佐々木 勉氏



システム部  
システム開発課  
調査役  
門脇 秀樹氏

### ▶「変革の加速」を支えるデスクトップ仮想化

北海道札幌市に本店を置く北洋銀行は、道内の個人から法人まで幅広い顧客層に、総合的な金融商品とサービスを提供している。「北海道の洋々たる発展の礎となる銀行」を経営理念とする北洋銀行では、持続的な成長を可能とする新中期経営計画「変革の加速」を策定し、①お客さまに選ばれる銀行への「変革の加速」、②地域の成長をバックアップする「変革の加速」、③収益力強化に向けた「変革の加速」の3つを経営目標として掲げている。

今回の行内システム環境の刷新は、お客さまサービス強化、コスト削減やさらなるセキュリティ強化の実現をめざし、新中期経営計画「変革の加速」を支える重要な施策の一つである。

「今回の大規模仮想デスクトップ環境の構築は、これまで勘定系や情報系など多種多様な専用端末が存在していた環境を抜本的に見直し、徹底的な業務効率向上とコスト低減を図りながら、お客さまとのより密接な関係構築、セキュリティ向上による内部管理体制の強化などで『変革の加速』を支える重要な施策となるものです」と北洋銀行システム部 担当部長 櫻井 誠氏は説明する。

これまで同行には用途別に6,200台もの端末があり、OA系および情報系PCの老朽化対策、OSへの定期的なパッチ適用、端末ごとのアプリケーションインストールやセキュリティ対策などに大きな負担がかかっていた。

「端末台数と運用管理負担を減らすには、端末の固有性や属人性を排除してセンター側で一括管理するしかない」と判断しました。そのための最適解として選んだのが、端末には情報を保持せず、ネットワーク経由でセンターサーバにアクセスし、業務環境を

柔軟に操作できるシンクライアントシステムでした」と同システム部システム企画課 主任調査役の佐々木 勉氏は振り返る。

### ▶日立のSI実績と高信頼製品群を評価

そこで北洋銀行は、職員が1台の端末から勘定系・情報系・OA系をシームレスに参照・利用できるシンクライアントの導入と、Windows Server® 2008の標準機能として提供されるためコストメリットの高いHyper-V™を適用したセンターサーバシステムの要件定義に着手。システム構築のSIパートナーには日立を選んだ。

「当行ではOA系のネットワークシステムで2年前からHyper-V™を適用したサーバ統合を推進しています。そこで一緒に環境構築を行っていただいたのが日立さんでした。その実績とノウハウの蓄積から、今回も安心して任せられると考えました」と同システム部システム開発課 調査役の門脇 秀樹氏は語る。

北洋銀行は仮想デスクトップ環境の構築にあたり、Citrix Xen Desktop™およびCitrix XenApp™を併用したデスクトップの仮想化と、Hyper-V™による高効率なサーバ統合の提案を要求した。日立はこの要求に対し、システムの構築にあたり金融機関や企業に多数の導入実績を持つ日立のシンクライアントノウハウと、日立クラウドソリューション「ハーモニアスクラウド Harmonious Cloud」のクライアントシステム設計・構築技術を適用するとともに、「日立・マイクロソフト総合検証センター」においてHyper-V™の実環境を想定した徹底的な事前検証を行った。

一方、仮想環境を支えるハードウェア構成も重要なポイントとなった。日立は業界トップクラスの高集積性と省電力性を誇る

## 株式会社北洋銀行

http://www.hokuyobank.co.jp/



株式会社北洋銀行は、北海道札幌市に本店を置く資金量6兆8,415億円の銀行であり、道内の個人から法人まで幅広い顧客層に総合的な金融商品およびサービスを提供しています。  
「北海道の洋々たる発展の礎となる銀行」を経営理念に、「お客さまとの信頼関係」の構築・組織的・継続的な「お客さまの事業支援」、ビジネスモデルである「地域密着型金融」の3つの取り組みにより、「お客さまに選んでいただける銀行」をめざしています。



BS320を約100ブレード、最大600GBの大容量SAS\*1ディスクを搭載可能なストレージAMS2300を組み合わせて、わずか7ラック分の設置スペースに5,000クライアントの仮想環境を収容。ディスクI/Oと北洋銀行で要求のプロビジョニング機能を支えるSAN Boot方式の採用により、スケールアウトを容易にしている。

「大規模な仮想デスクトップ環境の安定稼働には、サーバとストレージの高い親和性、業務環境やログの保存、SAN Bootの要となる大容量で高信頼なストレージ基盤が不可欠です。そうしたハード面でも日立のプラットフォーム製品群が評価できます」(佐々木氏)。

## ▶顧客サービス向上とコスト低減を実現

行内端末をシンクライアントと営業店窓口用の金融専用端末の2種類に集約し、合わせて約5,000台で業務を行う新環境では、システムライフサイクルを最大化する新旧アプリケーションの共存が大きな特長となっている。具体的には、IE6\*3ベースで作られた既存アプリケーションやOffice2003の環境と、IE8\*3ベースの新規アプリケーションおよびOffice2010やWindows®7の環境へ、1台の端末から柔軟にアクセスできるようになるのだ。これにより既存資産の有効活用だけでなく、新規業務の柔軟な追加も可能となる。

「仮想化によってアプリケーション層とハードウェア層を明確に分離することができたため、ハードウェアに依存することなく永続的に業務レイヤーを進化させる仕組みを手に入れたわけです」と佐々木氏は強調する。

仮想デスクトップ環境の導入によって実現されるメリットは大きく3つある。

1つは、手元の端末からワンストップで業務が遂行できることに

よる営業店窓口での待ち時間の短縮化、店頭における相談機能の強化といった顧客サービスの向上だ。

「お客さまとの接点を強くするには、窓口でしっかりお客さまと向き合いながら、さまざまな情報をその場で入手し、迅速に提供することが必要です。従来は業務別に端末が分かれていたため、たびたび席を立ってお待たせするような場面がありました。しかし新システムではそういった心配がなく、対面サービスに集中できます」(佐々木氏)。

もう1つが、端末集約とサーバ仮想化によるコスト低減だ。同じ環境を一般的な物理サーバで作った場合と比べると、「4割程度にコストが下がった」と佐々木氏は言う。加えてOSのライセンス体系見直しやミドルウェアの最適化で5割程度にコスト低減がされたのも、経営層から高く評価されたポイントだ。アプリケーションの導入・更新作業がセンター側だけで完了するメンテナンス性の大幅な向上、ハードウェア集約による消費電力の低減も加えると、そのTCO削減効果は一段と大きなものとなる。

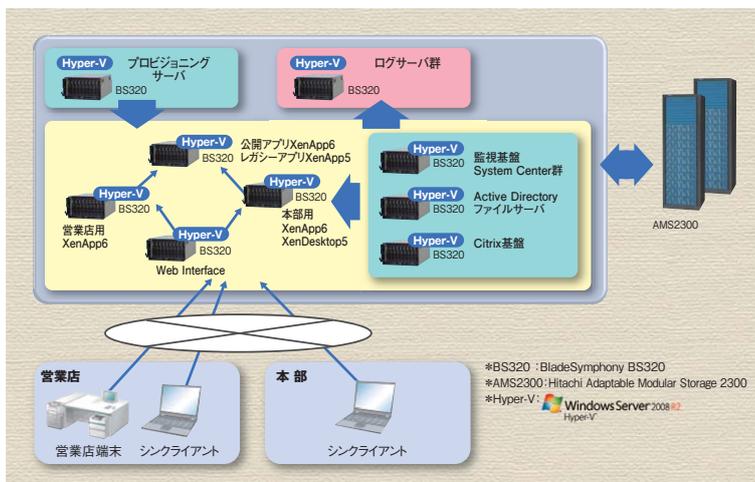
## ▶さらなる高付加価値サービスの創出をめざす

行内システム環境のセキュリティが格段に強化されたのも重要なメリットの1つだ。取引状況や顧客情報を含む業務データはセンター側での一括管理で情報漏えいリスクが極小化される。また、いつ誰が何をしたかという詳細なログと画面キャプチャーの記録で不正操作も抑止できる、完全な証跡監査が可能である。

幅広いメリットを併せ持つ仮想デスクトップ環境は、既に実ユーザーを対象としたテストフェーズに入っており、継続的なブラッシュアップを図りながら2012年9月からは本部と各営業店での利用を順次開始する。

「今後は、この環境を利用してお客さまにどのようなサービスを展開していくかも重要なテーマとなります。シンクライアントで数多くの導入実績を持つ日立さんには、システム構築だけでなく、その使い方やレシピについても引き続きご提案いただけると嬉しいです」と同システム部 システム企画課課長の平林 誠司氏は期待を寄せる。

仮想デスクトップ環境の導入で、顧客との接点強化やコスト削減をめざす北洋銀行の取り組みは、クラウド活用が本格化する金融業界の中でも、先進的かつユニークな事例の1つと言える。同行がめざす「変革の加速」に向けた、さらなる高付加価値サービスの創出とコスト低減に向け、日立は全力でサポートを行っていく。



大規模仮想デスクトップシステム概要図

\*BS320 : BladeSymphony BS320  
\*AMS2300 : Hitachi Adaptable Modular Storage 2300  
\*Hyper-V : Windows Server 2008 R2

\*1 SAS (Serial Attached SCSI) \*2 VM (Virtual Machine) \*3 IE (Internet Explorer®)

## お問い合わせ先

(株)日立製作所 金融システム営業統括本部 ビジネス企画部  
TEL (03) 3258-1111 (大代表)  
http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/

## ■金融ソリューション

http://www.hitachi.co.jp/finance/

〈関連ソリューション〉

日立クラウドソリューション http://www.hitachi.co.jp/cloud/